

(岩倉市)

市町村の 基本情報	学校数	小学校5校、中学校2校		
	地域学校協働活動推進員等の配置状況	統括的な地域学校協働活動推進員	0人	
		地域学校協働活動推進員	6人	
	状況	統括コーディネーター	0人	
		地域コーディネーター	1人	
	CS及び地域学校協働本部設置状況	CSを導入している学校数	小3校	中1校
地域学校協働本部がカバーしている学校数		小3校	中1校	



(活動の実際)

<学校支援ボランティアの活動>

(目的)

- ・校内の環境整備に伴う教職員の負担を軽減するとともに、子供たちがより美しく、落ち着いた環境で学校生活を送ることができるよう支援する。(小学校・中学校)
- ・実習を伴う授業(家庭科など)でより細やかな支援や指導をするとともに、安全に活動することができるよう見守る。(中学校)

(活動内容)

- ・地域の回覧板、学校ホームページ等をとおして地域住民に活動を周知するとともに、協力を呼び掛ける。
- ・定期的に地域学校協働活動推進員と学校側とで活動内容について協議、検討し、活動の実際については推進員が立案する。
- ・現段階では、小中学校とも除草作業、トイレ掃除等の環境整備に力を入れている。中学校では家庭科の授業におけるボランティアの見守り活動も始まっている。

(活動で意識していること)

- ・決して無理をせず、あくまでも持続可能な活動を目指す。
- ・学校側の要望を聞くとともに、学校の様子をよく観察し、活動内容を決める。
- ・活動は「子供たちの幸せの手助け」であることを強く意識する。

(◎成果と●課題)

- ◎協力してくれた地域の住民に学校のことを知ってもらうよい機会になった。また、子供が在学中でない地域住民から学校に足が運びやすくなったという声を聞いた。
- ◎教員の負担が減り、その分、子供たちと関わる時間が増えて学校から喜ばれている。
- 関係の小中学校で足並みをそろえて事前準備を進めてきたが、取組に温度差があることは否めない。
- 学校との意思の疎通が十分に図れていないからか、様々なことを要求されることがあり困惑している。

(関係者の声)

- ・地域学校協働活動推進員が精力的に動き、学校が抱えている課題の解決に向けて積極的に手立てを講じてくれるため、学校の負担が軽減されるだけでなく、より円滑できめの細かい教育活動が営まれている。(教員)
- ・学校に行く機会が増えて、先生方や活動を共にする他の地域住民とのつながりが強固になり、「地域の学校のために」という意識が一層強くなった。(地域の方)